

わかやま母親通信

第101号 2023年2月18日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール：w_haharen@wkn.or.jp

生命を生み出す母親は
生命を育て
生命を守ることをのぞみます

HP 和歌山県母親大会

第69回日本母親大会 in 和歌山の成功に向けて

1月21日(土)に、全県代表者拡大会議を招集し、新たな組織づくりとこれからの大まかな日程について提案しました。何と言っても、日本母親大会が始まって初めての和歌山県開催です。どう取り組んでいいか、手探りのことも多々ありますが、和歌山県の運動の歴史的財産に誇りを持ち、団体や個人との絆の強さを信頼し、背伸びしすぎず和歌山県らしい取り組みとしていきたいと考えます。



あなたの要求や想いを大いに語ってください、あなたの得意なことで大会成功のために力を発揮してください。みんなが持っている力を出し合って、和歌山県での日本大会を成功させましょう。

第69回日本母親大会 in 和歌山に関する情報は、4ページ目に載せています。(今後連載の予定) 目を通しておいてください。

2023年国際女性デー和歌山県つし集会を開催

2月8日(水)、ビッグ愛9F会議室で開催しました。3年前に準備会を立ち上げてから、新型コロナパンデミックの中で十分取り組めずにいましたが、今年は、何とか開催しました。和歌山県の男女共同参画の政策について学習したのですが、行政にできる事と課題を踏まえながら、私たちの学習と運動を進めていきたいと考えます。各地でも、3.8を中心に、学習や行動に取り組みましょう。

明日へ

高校の図書館司書の職について約30年。図書館を利用する生徒が年々減っていると感じます。最近、図書館で本を借りなくても、パソコンやスマホがあれば、ウェブで検索でき、便利な時代になりました。

でも、それで事足りているから図書館へ来ないだけでしょうか。それならいいのですが、読書アンケート結果をみると、子どもたちの読書量は減っているようです。

読書はいいものです。経験のできない世界の主人公になれたり、知らない場所を旅できたり、悩んでいるときに元気になれる言葉と出会えたり、解決するヒントをもらえたり……何より知識が豊富になります。社会に出た時に困らないよう、騙されないよう、本を読んで知識を増やしてほしいものです。「図書館は知識の宝庫」という言葉を聞いたことがあります。大人も子どもも、どんどん図書館を利用しましょう。M. S.

第 67 回和歌山県母親大会 in 田辺 於:Big・U

2023 年 1 月 21 日の第一回県実行委員会では、西牟婁郡市母連常任委員会と県母連役員会で相談した原案を提案しています。それを各郡市母連・各加盟団体で検討し、本日(2/18)の第二回県実行委員会で討議し、正式決定しました。

*日時/会場 2023 年 6 月 11 日(日)9:40~15:40/Big・U(田辺市)

*参加規模/参加形態 350 名/午前の 10 分科会の内、2 分科会と午後の全体会はオンライン併用にしようと計画中です。

***A**大会コンセプト(主催者の目標)と **B**大会テーマ(参加者に訴える主題)

A大会コンセプト 願い・想い・要求を大切に 誰もが元気になる母親大会を創ろう

B大会テーマ 平和・自由・多様性が尊重される世界・日本を願って

*県母親大会の開催にあたっての確認

第六七回和歌山県母親大会の開催にあたって

和歌山県母親大会は、「生命を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」のスローガンを掲げて、母親・女性の要求と活動を持ち寄り、学び合い、集約する、交流と連帯の広場です。

分科会の「申し合わせ」は満場一致で決定し、一致できないときは、今後の課題として討議の過程を大切にします。

一 第六七回和歌山県母親大会は、大会実行委員会が主催します。
二 大会実行委員会は、和歌山県母親大会連絡会の呼びかけに応じた郡市連絡会・県団体・労組によって構成され、その代表(複数可)及び必要な個人を実行委員とします。実行委員長一名、副実行委員長若干名、事務局(集団)を選出します。

三 大会実行委員会は、大会の大綱その他必要な決定を行います。
四 大会実行委員会は、現地(西牟婁母親大会実行委員会)と協力し、大会の成功をめざします。

五 県常任委員会は大会運営委員会、県役員会は大会本部役員会として、大会成功に向けて任務を果たします。

六 大会実行委員会は、二〇二三年一月から七月までとします。
七 会員券・分担金・その他財政活動によって大会を支えます。
八 予算と財政報告は大会実行委員会の承認を求めます。

大会実行委員会の終了後は、和歌山県母親大会連絡会として、「宣言」「決議」「申し合わせ」にもとづいて運動をすすめます。

二〇二三年一月二二日

第六七回和歌山県母親大会実行委員会

注. 会議の中で、二の 2 行目、「…県団体・労組(女性部)によって」を「…県団体・労組によって」に変更することを確認しました。日本大会を和歌山県で開催する準備の中で、「母親大会は、女性を中心として進めてきた平和運動、要求運動である」と認識を新たに、加盟団体を「基礎組織」と押さえた考えによるものです。

* 全体会記念講演→今年は公演になりました

音楽&トーク **憲法・平和を歌う**

出演 音楽グループ **うたごえオールスターズ**



自分たちでメッセージを込めて作詞作曲し、歌と演奏を聴かせてくれます。みんなで歌って、元気をもらい、「戦争させない!」「平和な日本・世界を!」と運動を広げていきましょう。

**私たちは、「だまされない」「あきらめない」「立ち止まらない」で、
そして、「しなやかに」「したたかに」「しぶとく」、歩み続けましょう**

* 分科会 10 分科会

- | | |
|--|------------|
| ① 子どもたちが健やかに育つ環境を一それぞれの立場で
～学校・家庭・保育所(幼稚園)・学童保育・地域から～ | 実習室 30 |
| ② 自分らしく生きるために～登校拒否・ひきこもりの問題～ | サークル室 10 |
| ③ 命が守られる医療とは～医療制度をめぐる状況・各地の要求運動～ | サークル室 10 |
| ④ 食の安全を考える～環境ホルモンってな～に?(DVD 視聴) | 研修室 50 |
| ⑤ 戦争を起こさないためにできること
一軍拡・9条改悪を許さず、平和な世界・日本へ | 情報室 30 |
| ⑥ ジェンダー平等社会って?～平和・自由・多様性… | 情報室 30 |
| ⑦ SDGSについて学び、「できる」を考えよう | 研修 113(40) |
| ⑧ 健康体操 100 年時代を元気に過ごそう 25 | 宮之浦町民会館 |
| ⑨ 見学1 鳥の巣平和公園見学 <u>事前に DVD 視聴</u> (多目的室) | 25 |
| ⑩ 見学2 白浜水族館と南方熊楠館見学 バスで 親子も可 | 25 組 |

注. 限られた会場数で、しかも広さも様々な中で、上記のような設定を考えました。⑤と⑥はオンライン併用で、⑧⑨⑩は事前申込となります。詳しくは3月以降、ちらしが完成してからになります。

2/12(日)第56回近畿フロック母親運動学習会 in 彦根に130 数名集う

3年ぶりとなる近プロ学習会でした。和歌山から18名が参加しました。司会進行は、横山会長が務めました。「集まれて元気が出た」の声。



(左上) みんなで歌おう
運動交流で発言(右上)
←和歌山担当の分科会
母親運動分科会で→

「第69回日本母親大会 in 和歌山」の成功に向けて①

1月21日の全県代表者拡大会議で、次の文書を出しました。多くの方にお渡しし読んでいただいでください。和歌山の大きな力を結集し成功させましょう。

2024年「第69回日本母親大会 in 和歌山」開催を成功させましょう

日本母親大会が和歌山県で開催されることになりました。1955年に第一回が開催されてより70年になろうとする長い母親大会の歴史の中で、和歌山県開催は初めてのことです。

2024年「第69回日本母親大会 in 和歌山」は、9月28-29日開催となります。

- 4 -

2019年10月の日本母親大会実行委員会で、「和歌山開催」が決定した後、新型コロナウイルス感染症の爆発的流行が起きました。「みんなで集う」ことが困難となり、2020年沖縄開催は延期し、2021年には全体会みのオンライン開催となりました。

長引くコロナパンデミックの中で、今までの形の開催が見通せず1年ずつの大会を計画していくことになり、68回大会以降の予定は一時棚上げされることとなりました。22年の埼玉・群馬開催は分科会と全体会が計画され、関東圏中心の会場参加と全国オンライン併用によるハイブリッド開催となりました。「オンラインで参加者があるだろうか」の不安をよそに、沖縄大会には12,000人、埼玉・群馬大会には14,000人が参加しました。「家に居ながらにして気軽に参加できる」ことの良さが、広く認識されたのです。

「今後どういう形にしていくのか」の話し合いも続けながら、2023年は山口開催、そして2024年はいよいよ和歌山県(和歌山市中心)で開催することが正式決定されました。

今から「日本母親大会 in 和歌山」の準備を始めましょう。

長い間、和歌山からは、他の都府県へ行かせていただくばかりでした。各地の貴重な運動や取り組みをたくさん学ばせていただき、各地での楽しい観光もさせていただきました。

今度は、そのことへのお礼を込めて、私たちが精いっぱいおもてなしをしましょう。全国各地の優れた運動や取り組みを和歌山へ運んで来てもらいましょう。そして、私たちの運動や取り組みを積極的に発信しましょう。みんなの切実な願いや要求を交流し合いましょう。和歌山の自然や歴史、おいしい食べ物を楽しんでもらいましょう。

「和歌山ってこんな自然や食べ物があるところだったの」「こんな歴史や要求運動があったの」と大いに驚き、感動してもらいましょう。

さて、そのために何を準備していったらいいのでしょうか。

体制づくり/役員の増強(県も郡市も)、会場借用、宿泊や交通・駐車場の調査、各団体へ協力依頼、行政への支援依頼、和歌山らしい記念品(販売商品)の決定、会場の演出、出演者選定や和歌山県の運動の発言内容、そして、一番大事なことは、資金作り、地域の要求や運動をまとめて分科会(案)づくり。未加盟団体や個人への「**一緒に**」のお誘い、他…。

ぜひ、多くの方のみなさんの経験と知恵とアイデア、力と行動力を結集していただけることを心よりお願いいたします。 2023. 1. 21 和歌山県母親大会連絡会全県代表者拡大会議